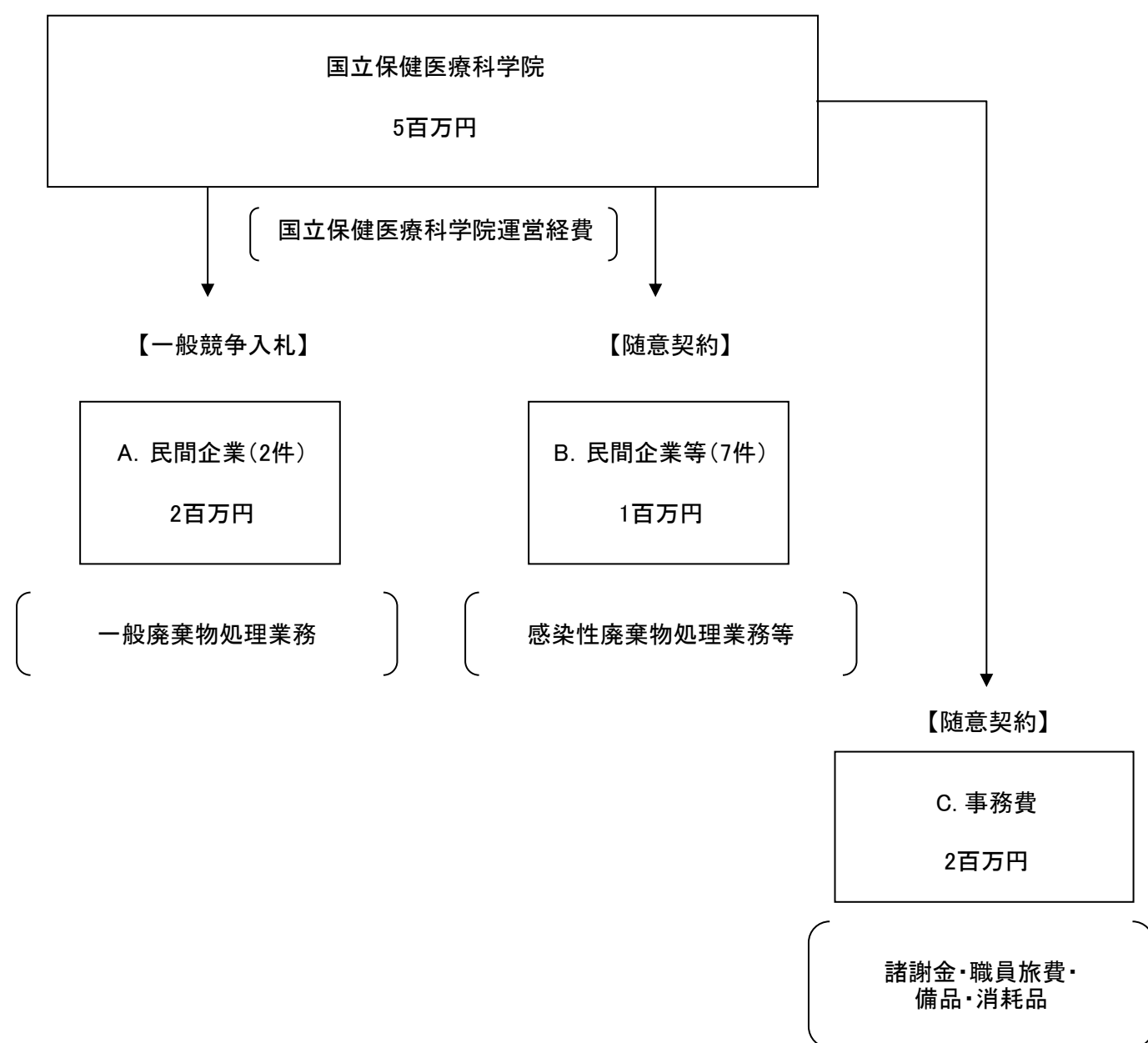


## 平成25年行政事業レビューシート

( 厚生労働省 )

事業名	国立保健医療科学院運営経費		担当部局	国立保健医療科学院		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	総務部会計課		岡山 幸平		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立保健医療科学院の研究事業及び調査研究事業並びに研究業務に使用する特殊施設(機器分析室)の運営を行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	以下の事業を行う。 研究調査の実施 年報作成 研究倫理審査委員会を開催 特殊施設(機器分析室)の管理運営							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	6	5	5	5	5	
	執行額	4	5	5				
	執行率(%)	67%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	国立保健医療科学院の運営に関する経費のため成果等の設定は困難		成果実績	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	研究倫理審査委員会の開催 年報作成部数:100部		活動実績 (当初見込み)	回	3 (3)	2 (3)	1 (3)	—
			部	100 (100)	1500 (100)	1500 (1500)	( — )	
単位当たりコスト	23,760(円/回)		算出根拠	研究倫理審査委員会開催費用/開催回数				
	282(円/部)			年報作成費用/作成部数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1.3	1.5	謝金単価の増額に伴う増				
	職員旅費	0.7	0.7					
	庁費	2.2	2.2					
	試験研究費	0.5	0.5					
	計	4.8	4.9					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国立保健医療科学院の運営に関する経費のため必要な事業である		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国立保健医療科学院の運営にかかる経費のため他に委ねることは出来ない		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を実施し、競争性を確保した。一部の契約について、100万円未満の役務のため少額随意契約としたものがある。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	経費節減を行い、コスト低下に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初の見込みにほぼ沿った実績となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>研究倫理審査は書面審査とされたものが多かったため、研究倫理審査委員会の開催回数は少なかったが、厳正な審査を行っている。また、年報の発行は計画通りに行った。</p> <p>経費は科学院における試験研究にかかる運営に必要となる雑役務費等に支出している。今後も、試験研究の運営に必要な契約を行いながら、経費削減に努める。</p> <p>なお、発注などの契約手続については、入札や見積合わせにより競争性を確保する等により予算執行の効率化を図っている。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>本事業は、国立保健医療科学院の研究業務等に使用する特殊施設の運営等に要する経費であり、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0597	平成23年	0544	平成24年	0483



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)

A.日本興業(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	一般廃棄物処理業務	1.31			
計		1.31	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	100万円以上の支出先無し				
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	100万円以上の支出先無し				
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本興業(株)	一般廃棄物処理業務	1.31	1者	92.73%
2	明誠企画株式会社	『国立保健医療科学院年報』印刷・製本	0.42	3者	38.13%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境テコム	感染性廃棄物処理業務等	0.81	随意契約	
2	明誠企画株式会社	『国立保健医療科学院年報』発送業務	0.17	随意契約	
3	(株)リバーズ	感染性廃棄物処理業務	0.05	随意契約	
4	(株)ドルフィン	英文校閲	0.02	随意契約	
5	日産プリンス東京販売(株)大泉店	自動車廃棄業務	0.02	随意契約	
6	株式会社 産業用水調査会	論文印刷	0.01	随意契約	
7	個人A	麻薬研究免許申請手続き	0.01	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)竹宝商会	事務用機器購入	0.50	随意契約	
2	(株)ダイキ産業	事務用機器購入	0.46	随意契約	
3	個人A	諸謝金	0.30		
4	個人B	諸謝金	0.30		
5	個人C	諸謝金	0.12		
6	個人D	職員旅費	0.08		
7	個人E	職員旅費	0.08		
8	個人F	職員旅費	0.05		
9	個人G	職員旅費	0.05		
10	個人H	職員旅費	0.04		